

# 事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶ 現在募集中

正規職員 看護師



嘱託職員

嘱託生活支援員、嘱託栄養士、嘱託調理員、生活支援員補助（夜勤専従）、介護補助、プール監視員、調理補助



お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団  
 総務部総務課 採用担当  
 〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2  
 電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト <http://nagoya-rehab.or.jp>



事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式 ➡ @nagoya\_rehab

## 事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター  
 ・福祉スポーツセンター  
 ・障害者就労支援センター めいりは  
 〒467-8622  
 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2  
 電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

なごや福祉用具プラザ  
 〒466-0015  
 名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1  
 御器所ステーションビル3F  
 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター  
 ・地域活動支援センター つきみがおか  
 〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5  
 NTT西日本八事ビル1階  
 電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

名古屋市障害者スポーツセンター  
 〒465-0055  
 名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地  
 電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

季刊

社会福祉法人  
 名古屋市総合リハビリテーション事業団

# オレンジロード

ORANGE  
ROAD

2019年  
春号  
vol.20



事業団公式マスコットキャラクター  
 りはみん

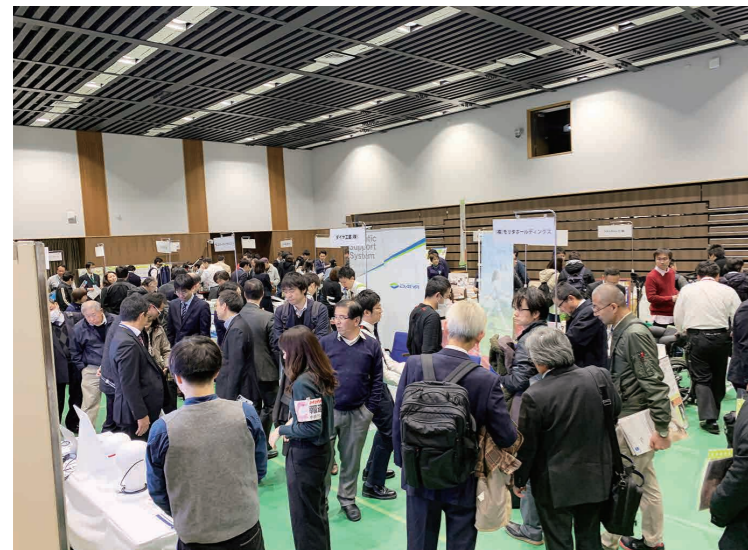
## INDEX

- ◆あいち・なごや介護ロボットフォーラム2018開催報告
- ◆スポセンわくわくフェスティバル2018開催報告
- ◆新しい障害福祉サービスの提供を開始
- ◆事業団創立30周年記念事業「愛・医療祭」に出展
- ◆自立支援部および高次脳機能障害支援説明会開催報告
- ◆居場所サロン(11・12・1月)
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



# あいち・なごや介護ロボットフォーラム2018



平成30年12月11日（火）、名古屋工業大学 NITech Hall（ナイテックホール）にて、厚生労働省事業『あいち・なごや介護ロボットフォーラム2018』を開催しました。

介護分野では、人材不足が深刻な状況の中、介護職員の人材確保や定着、業務の負担軽減が大きな課題となっています。その課題解決の一端を担うことが期待されている介護ロボットですが、その情報や効果が十分に伝わっていないことなどから、導入や活用が進んでいないのが現状です。このフォーラムはそうした状況を少しでも打開するために、平成30年度から厚生労働省が全国15カ所での開催を目標に実施されている事業で、東海地区では初めての開催でした。

内容としては、介護ロボットの展示、行政説明、介護ロボットの開発支援に関する活動報告、実際に導入している施設からの実践報告、介護ロボットの効果的な導入・利活用の推進に向けたパネルディスカッションでした。介護現場の方を中心に、参加総数440名以上が集う大盛会となりました。

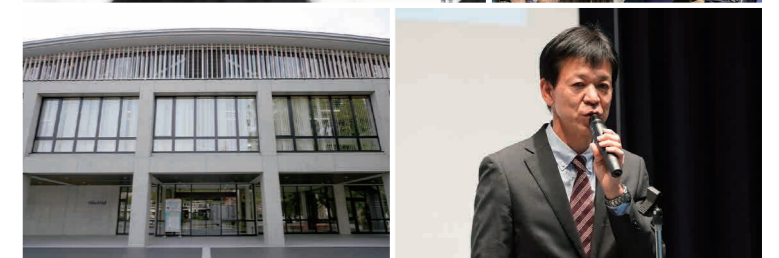
参加者へのアンケートでは「また参加したい」「内容によって参加したい」という方が100%でした。また企画内容では、最新ロボット（27社35種）が一堂に会した「介護ロボットの展示・相談」への満足度が非常に高く、施設への導入を検討している方の割合

も回答者の90%とかなり高いことが印象的でした。ロボットの種類としては、移乗支援と見守り支援のロボットへの注目度が高い結果となっていました。

パネルディスカッションでは、公益財団法人テクノエイド協会の五島さんから「これまで培われてきた介護技術は継承しつつ、既存の介護の方法と新しい技術の融合として、二者択一ではない新しい介護法としての介護ロボットの導入を」というお話がありました。また、座長の名古屋工業大学 佐野教授からは「事業団・なごや福祉用具プラザは地域のハブとなって、介護ロボット普及を推進することを期待しています」とのご提言をいただき、事業団・なごや福祉用具プラザの介護ロボット業界でのあるべき姿・未来を示していただきました。

このフォーラムの開催にあたっては、愛知県、名古屋市、県理学療法士会、県作業療法士会などたくさんの関係機関・行政機関・職能団体からご後援をいただきました。事業団では今後より一層、介護ロボットの開発支援や普及活動に努めてまいります。

※本事業は、厚生労働省・テクノエイド協会の平成30年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業に応募採択され取り組みました。



# スポセン わくわくフェスティバル2018



平成30年12月2日（日）名古屋市障害者スポーツセンターにて「スポセンわくわくフェスティバル2018」を開催しました。



独楽太郎さん

今回はゲストに、独楽太郎（こまたろう）さんをお迎えしました。独楽太郎さんは大道芸人の中でも日本では数少ない曲独楽師、いわゆるコマの曲芸師として各地で活躍されております。ステージで見事なパフォーマンスを披露していただくと歓声が上がり、また軽快なトークでも会場を盛り上げていただきました。

体育室のメインステージでは、高針台中学校合唱部のパフォーマンス、ボランティアサークル「名東フレンズ」によるバルーンパフォーマンス、社交ダンス・ダンスダンスの発表、和太鼓グループ「椿」による和太鼓演奏を披露していただき、会場を盛り上げていただきました。またステージと並行して、実行委員による屋台販売、屋外では貴船学区連絡協議会の皆さまのご協力による餅つき大会が開催されこちらも大盛況でした。



高針台中学校合唱部

2階では障害者スポーツ体験、愛知ろう鉄道模型クラブによる鉄道模型の一般公開、フラミンゴアーチェリークラブによるアーチェリー紹介ブース、地域の幼稚園・保育園児による作品展示コーナーも開催されており、フェスティバルがより一層活気づいていました。



和太鼓グループ「椿」

今回も非常に多くの方に来場していただくことができ、地域交流事業としてふさわしいフェスティバルになったと感じています。フェスティバルの会場設営や飾り付け、イベントや屋台の手伝いなどにご協力いただきましたボランティアや関係者の皆さま、ありがとうございました。

## 新しい障害福祉サービスの提供を開始しました

「障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」の一部改正に伴い「就労定着支援事業」「自立生活援助事業」という二つの新しい障害福祉サービスが創設されました（平成30年4月1日施行）。当センターでも、平成30年12月より「就労定着支援事業」「自立生活援助事業」のサービス提供を開始しています。

### 就労定着支援事業

● **就労定着支援事業とは**  
就労移行支援などを利用し、一般就労に移行した障害者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所（企業）・家族と連絡調整などの支援を一定の期間にわたり行う福祉サービスです。

● **対象者**  
就労移行支援、就労継続支援、生活介護、自立訓練の利用を経て、一般就労へ移行した障害者で、就労に伴う環境変化により生活面の課題が生じている方。

● **支援内容**  
利用者との相談を通じて、生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関などとの連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を実施します。  
※利用者の自宅・企業等を訪問することにより、月1回以上は利用者との対面支援を行う、月1回以上は企業訪問を行うことを努めることとされています。

● **利用期間**  
就職後6カ月～3年6カ月です。

● **当センター就労支援課での対応について**  
就職（復職）後、半年を超えて「定着支援」のニーズがある方は『就労定着支援』事業の利用契約をしていただけます。就職後3年6カ月で『就労定着支援』の利用期間が終わりますので、それまでに職業生活の安定を目指すとともに、関係機関に引き継ぎます。これまでは就職（復職）後のフォローアップは、ニーズに応じて期間を限定せずに行ってききましたが、今後は利用期間を意識したフォローアップとなります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 自立生活援助事業

● **自立生活援助事業とは**  
障害者支援施設やグループホームなどから、一人暮らしへの移行を希望する障害者などに対し、必要な助言や医療機関などとの連絡調整などの支援を一定の期間にわたり行う福祉サービスです。

● **対象者**  
主に当入所施設の利用終了後に居宅での単身生活等に移行した方のうち、支援を希望される方もしくは現に単身生活などを行っている方で支援を必要とする方。

● **支援内容**  
地域での単身生活等を継続するために、定期的に居宅を訪問し、必要な助言や関係機関との連絡調整を行います。ご本人から相談・要請があった場合は、訪問、電話、メールなどにより随時の対応も行います。

● **利用期間**  
原則1年間です。

● **当センター生活支援課での対応について**  
この事業の対象となる方には、障害者支援施設の利用終了前に、この事業の利用希望の有無を伺います。利用契約後は相談支援事業所など関係機関と連携しながら、安定的な地域生活が送れるように支援を進めます。

事業団創立30周年記念事業

「愛・医療祭」に出展

事業団・  
なごや福祉用具プラザ  
のブース

なごや福祉用具プラザのブースでは、福祉用具を身近に感じてもらうことをテーマに、利き手交換の箸や片手でできるハンガー、リーチャー、ストッキングエイドなどの日常生活に関わる福祉用具を展示して、実際に体験していただきました。また事業団コーナーでは、視覚障害における見えにくさの疑似体験をしていただきました。こちらのブースは80名を超えるさまざまな方にご来場・体験いただきました。

事業団創立30周年記念事業の一環として、平成30年11月18日（日）に愛知医療学院短期大学で行われた「愛・医療祭」に事業団・なごや福祉用具プラザと名古屋市障害者スポーツセンターの二つのブースを出展しました。



大学のパラスポーツサークルと名古屋市障害者スポーツセンターの共催で、障害者スポーツの体験とパラリンピックのフォトギャラリー、チェアスキー・バイスキーの展示を行いました。

名古屋市障害者  
スポーツセンター  
のブース

スポーツ体験ブースでは陸上競技のスラロームとボッチャ競技を行いました。公式ルールを基に分かりやすいルールに変え、より身近に感じられるような内容にしました。障害者スポーツのブースでは110名程度の方にご来場いただき、紹介だけでなく実際に体験していただくことができました。

自立支援部および  
高次脳機能障害支援説明会

平成30年10月24日（水）と12月5日（水）に「自立支援部および高次脳機能障害支援説明会」を開催しました。1回目は38名、2回目は29名の方にご参加いただきました。

今年度のプログラムは昨年度と同様、各課の取り組みに関する紹介・施設内の見学・名刺交換会を中心に実施しました。名刺交換会は昨年度から取り入れています。参加者の皆さんが「こやかに話していただいているところを見ることができ、併せて私たち実行委員も近況や個別のケースについて情報交換を行う機会となりました。

今回は、障害福祉サービス事業所や相談支援事業所だけでなく、病院のリハビリスタッフや労働関係者など幅広い分野からご参加いただきました。このような説明会は、リハビリセンターの機能や役割を知っていただくとともに、利用の入口・出口部分の連携を深めるといふ点においても大切な機会であると考えていますので、来年度以降も内容の充実を図ってまいります。



居場所サロン事業 開催報告



11月 季節の飾り作りと  
便利な福祉用具の紹介

平成30年11月20日（火）開催

なごや福祉用具プラザの職員を講師に迎え、福祉用具の説明の後、福祉用具を実際に見て触れて体験していただきました。

その後は、画用紙や折り紙を使ってお正月にぴったりの壁掛け飾りの製作に挑戦していただきました。参加者の皆さんはそれぞれ素敵な作品を作り上げていました。



12月 あなたは大丈夫？  
ロコモティブシンドローム

平成30年12月4日（火）開催

「ロコモ（ロコモティブシンドローム）」とは、骨・関節・筋肉といった運動器機能が衰えることにより「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態、いわゆる足腰が弱った状態を指します。

今回は福祉スポーツセンターのスポーツ教室と共同で①ロコモ度チェックテスト（下肢筋力判定、歩幅判定）と身体状態・生活状況の自己判定 ②保健師による講話 ③体育指導員によるストレッチなどを実施しました。



1月 ボッチャ体験会

平成31年1月22日（火）開催

「ボッチャ」は重度身体障害者を対象としたパラリンピックの正式種目で、日本代表がリオデジャネイロパラリンピックで銀メダルを獲得しています。ルールは単純明快で、身体障害者だけでなく、老若男女、障害のあるなしに関係なく楽しめるユニバーサルな競技です。

今回は地域の小学生と一般の方にご参加いただき、お互いにアドバイスをし合うなど楽しんでいる様子が伺えました。

